

平成13年度第3回愛知県周産期医療協議会
議 事 要 録

日 時：平成14年3月22日（金） 午後3時から午後5時まで

場 所：名古屋第一赤十字病院 第6会議室

委員

出席者：有吉委員、安藤委員、五十里委員、石田（昭）委員、石田（時）委員、石塚委員、一木委員、岡田委員、
加納委員、小山委員、戸苅委員（代理）、長嶋委員、長屋委員（代理）、早川委員、判治委員（代理）、
松澤委員、森川委員、

欠席者：浅井委員、梶浦委員、奈倉委員、森田委員、

事務局：愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）

名古屋市健康福祉局健康部健康増進課長（代理）

名古屋第一赤十字病院第二産婦人科部長、名古屋第一赤十字病院第二小児科部長（代理）

欠 席：愛知県健康福祉部児童家庭課長、

司会者：名古屋第一赤十字病院第二産婦人科部長

議 長：加納会長

1．五十里技監あいさつ

2．加納会長あいさつ

3．議事

（1）平成13年度愛知県周産期医療情報システムの報告と今後の課題について

< 応需情報利用件数 >

* 平成13年4月から平成14年2月までのデータです。

* 岡崎市民病院、海南病院、公立陶生病院については、平成13年7月からのデータです。

* パスワード発行機関数、産科76施設、小児科14施設となっています。

* 産科の対象施設数215施設に対して少ないように思えるが、お産を取り扱っている施設数は100施設もない現状からみて、妥当ではないかと思われる。

< 専門相談報告状況 >

* データ入力されていない病院は入力をお願いします。

* 産科・小児科両方の入力が出来ますように、協力をお願いします。

* コロニー中央病院のデータも入力したいので、システムに組み入れてもらえないか。

* データ数はかなりの数になるとと思われる。

* 愛知県で検討してもらえないか。

* コロニー中央病院は、地域周産期母子医療センターではないが、事務局としてはデータ入力に対して問題ないと思います。

* データ入力するためには、地域周産期母子医療センター同様にネットワークシステムに組み入れる必要がある。

* コロニー中央病院が参加出来るように、愛知県としても前向きに検討します。

（2）平成13年度愛知県周産期医療専門相談事業の報告と今後の課題について

* 平成13年度は、総合・地域周産期母子医療センターにて持ち回りで実施しました。

* 平成13年11月17日開催（半田市立半田病院）については、前回の協議会で報告済です。

* 平成13年12月1日開催（一宮市民病院）について

* 名古屋市立大学医学部産婦人科分娩部助教授 鈴木佳克先生による、特別講演を開催しました。

- * 院内の先生による報告会も合せて行ないました。
- * 助産婦も含めて、参加者は40～50名で、盛況のうちに終了しました。
- * 平成13年12月15日開催（小牧市民病院）について
- * 名古屋大学医学部保健学科教授 森島恒雄先生による、講演会とそれについてのディスカッションを行いました。
- * 地域の医師、看護婦等参加者は15～16名でした。
- * 平成14年1月26日開催（名古屋第一赤十字病院）について
- * 秋田赤十字病院産婦人科部長 平野秀人先生による、特別講演を開催しディスカッションを行いました。
- * 参加者は60～70名でした。
- * 平成14年2月16日開催（トヨタ記念病院）について
- * 鹿児島市立病院周産期医療センター科長 茨 聡先生による、特別講演を開催しました。
- * 助産婦による小講演と臨床心理士によるNICUにおける未熟児、仮死の赤ちゃんの母親への心理的な支援活動について報告を行いました。
- * 参加者は約60名でした。
- * 平成14年2月27日開催（豊橋市民病院）について
- * 名古屋市立城北病院名誉院長 後藤玄夫先生による、特別講演を開催しました。
- * 苦労話から抗生剤の使用方法による感染症まで、幅広くお話しいただきました。
- * 参加者は、50名程度でした。
- * 平成14年3月9日開催（名古屋第二赤十字病院）について
- * 大阪府立母子総合保健センター新生児科部長 北島博之先生による、特別講演会を開催しました。
- * 心の問題「カンガルーケア」についてお話しいただきました。
- * 参加者は院外51名、院内21名ありました。
- * カンガルーケアについて、生まれてすぐの子供を抱きしめることは、成長しても心に残り、子供の精神発育が良くなると言われている。
- * 何年も先にならないと結果は現れないが、行っている施設と行っていない施設では母親の取扱が変わってくる。（何年も先のフォローアップが必要になる）
- * 短期間のデータでは、バイタルサインが良くなるというデータも出ています。
- * トヨタ記念病院でも、少しずつ始めています。（母親には好評です）
- * 平成14年3月16日開催（更生病院）について
- * 新生児の聴覚障害のスクリーニングとその問題についてと、新生児搬送の報告も行いました。
- * 参加者は、20数名でした。
- * 今年度開催されませんでした施設は、来年度にはよろしく願います。
- * 症読会等の開催でもよいので、開催・報告して下さい。
- * 来年度も各周産期母子医療センターでの開催をお願いします。
- * 開催案内が開催医療圏だけで他の医療圏にはされなかったので、医療協議会委員には連絡してほしい。
- * 来年度からは協議会委員にも案内をします。

（3）平成13年度愛知県周産期医療調査・研究事業の報告と今後の課題について

<脳性麻痺の成因における周産期脳障害>（早川文雄）

- * 脳性麻痺の成因において周産期脳障害の関与について調査しました。
- * 1993年から1997年に生まれた、5歳～9歳児で歩くことの出来ない子供を対象に、アンケート調査を行いました。
- * 愛知県内の病院40施設と、療育センター8施設にアンケートしました。
- * 116の施設・個人にアンケートを行ない、72の施設・個人から回答がありました。
- * 18施設277例の報告がありました。
- * まだ回答されていないものがありますので、今後はもう少し症例が増えると思われます。
- * 結果については別紙資料参照。
- * 施設の重複患者に対しては、生年月日・氏名の記入をお願いしていますので、重複のチェックは行っています。

- * タイトルに「愛知県下の」を追加していただけないか。
- * 来年度の研修会で報告をお願いします。
- * 雑誌等への発表は、「愛知県周産期医療協議会」名を入れて下さい。
- * 報告書の中で、「周産期障害」という言葉が使用されているが、産婦人科では具体的に表現して、周産期障害という言葉は使用していない。
- * 周産期障害と分娩障害とが一緒になってしまうので、具体的な言葉を使用してもらえないか。
- * NICUからの報告は未熟児のものがほとんどで、分娩障害については殆んど療育センターからの報告であるため、新生児のデータはありません。

<愛知県下のハイリスク新生児（NICU収容児）の退院後の地域での支援体制（保健婦活動）の実態調査>（長嶋正實）

- * 現在纏めている途中です。
- * 保健婦にアンケート調査中です。
- * NICU入院患者と保護者と保健婦との係わりについて、病院、保護者にアンケート行いました。
- * 病院300施設、保護者350名のアンケートを回収しています。
- * 今年度中にアンケートを回収し、来年度早々には纏めます。
- * 来年度の調査・研究のテーマについて、意見・テーマ等ありましたら事務局までご提案ください。

（４）平成13年度愛知県周産期医療研修事業の報告と今後の課題について

- * 平成13年10月20日(土)研修会開催。
- * 平成13年11月17日(土)講演会開催。
- * 詳しい報告は、平成13年度第2回の協議会で報告済です。
- * 平成14年度の研修会は、平成13年度調査・研究事業の報告会を開催予定です。
- * 講演会につきましては、テーマ、講師の推薦等ありましたら事務局までお願いします。

（５）報告事項

<母子健康手帳の改正について>

（１）母子健康手帳の大きさについて

- * 大きさの指定を削除。

（２）離乳及び断乳について

- * 離乳及び断乳について、「断乳」ではなく「母乳を飲んでいるか否か」を確認する欄に改正。

（３）乳幼児の発達に関する質問項目について

- * 質問項目の修正・追加。

（４）乳幼児身体発育曲線等について

- * 乳幼児身体発育曲線等の改正、10及び90パーセントイル曲線の削除。

（５）父親の育児参加の促進等について

- * 両親の育児休業の取得、妊娠中の夫の協力や父親の育児参加に関する記述の追加。

（６）子育て支援について

- * 児童虐待、マタニティーブルー、産後鬱等の保護者の記録欄の充実。

- * 相談機関全面改正。

（７）歯科保健に関する記載について

- * 妊娠中、産後の妊産婦歯科健診。
- * 永久歯の中で一番最初に生えてくる第一大臼歯の歯磨きの方法の記載。
- * 歯の名称と生える時期の記載等、歯科保健関係が充実しています。

（８）幼児期における生活リズムの形成について

- * 睡眠・食習慣など規則正しい生活リズムに関する記載が充実されました。

（９）予防接種の接種勧奨について

- * 予防接種の接種率の向上のため、BCG、ポリオ、DPT、麻疹、風疹の接種状況の確認欄と予防接種の記載が改正されました。
- * 予防接種時期、注意点、副作用について記載しています。

(10) 薬の影響について

- * 医師や薬剤師からの薬の説明を促すため、薬の影響に関する記載内容が充実されました。

(11) 妊娠中及び育児期間中の喫煙・飲酒について

- * 妊産婦や周囲の人の禁煙並びに妊産婦の飲酒についての記載が充実されています。

(12) 葉酸の摂取について

- * 二分脊椎などの神経管閉鎖障害の発症リスク低減のために、妊娠中、産後の食事欄に妊婦の葉酸摂取に関する記載が追加されました。
- * 葉酸は妊娠3ヶ月前からの摂取が推奨されています。

(13) 揺さぶられっ子症候群について

- * 脳血管障害予防のための6ヶ月以下の赤ちゃんを、強く揺さぶらない注意を追加しました。

(14) チャイルドシートの使用について

- * 「事故の予防」欄に、チャイルドシート使用の記載を追加しました。

(15) 働く女性・男性のための出産、育児に関する制度について

- * 父親の出産休暇についての記載がされました。
- * 事業主は3歳未満の子を養育する男女労働者に対して、育児休業制度や短時間勤務制度等の措置を講じなければならなくなりました。
- * 一定の条件のもと深夜業が免除されます。
- * 母性健康管理指導事項連絡カードの様式が追加され、雇用保険法の育児・介護休業法が改正されました。

< 質疑 >

- * 葉酸摂取は具体的には何で摂取するのか？
- * ブロッコリー、ほうれん草など緑黄色野菜での摂取を進めています。
- * BCGの接種で、WHOは2回の接種を1回にすることを提唱しているが？
- * 将来的には変わるかもしれないが、現在ははっきりしていません。
- * BCGの接種位置は、上腕外側ほぼ中央が良いとされる通達が出ています。

< 平成14年度 愛知県母子保健の重点目標について >

- * 平成14年度の目標を、10代の人工妊娠中絶の減少、予防可能な周産期死亡及び妊産婦死亡の防止、乳幼児の不慮の事故による死亡の減少、虐待の早期発見と防止の4項目にする。
- * 愛知県に総合・地域周産期母子医療センターの制度が出来たが、妊産婦の死亡率が減少していないので、今後も努力が必要である。
- * 日本の医療施設体制に問題があるが、現状の体制の中で努力する必要がある。
- * 産婦人科医会からは、早目に病院への搬送を提案している。
- * 10代の人工妊娠中絶は、15歳から19歳までの女性1,000人中6~7人だったのが、平成12年には11人強に増加している。
- * 人工妊娠中絶を減らすためにも、前段階の教育が必要である。
- * 産婦人科医が学校の嘱託医を務め、性教育をするべきである。
- * 保健師を呼び教育している学校もある。
- * 現在エイズへの警戒心も薄れてきており、性病の問題も多く出てきていると思われる。
- * 年に1・2回の講演会を開催する等、具体的に症例、対策を考える必要がある。

< 母子医療施設整備費の補助について >

- * 総合・地域周産期母子医療センターが補助対象です。
- * 補助率は、国が3分の1、県が3分の1で、対象額全体の3分の2の補助が受けられます。
- * 平成14年度は岡崎市民病院が対象になっています。
- * 今からの申請は、補助対象年度が平成16年度になります。

< 不妊に関するアンケート調査について >

- * 3月25日から「あいち子育て支援情報」でホームページを活用したアンケートを実施します。
- * 5月ごろ医療機関へのアンケート調査を実施する予定です。
- * 入院患者にもアンケート調査を予定しています。
- * 少子化対策のひとつとして行います。

(6) その他

<次期委員について>

- * 委員の任期が5月31日で終了しますので、来期の協議会は新委員で行う予定をしています。
- * 次期委員について自薦・他薦ありましたら、愛知県健康福祉部・児童家庭課まで連絡をお願いします。
- * 総合・地域周産期母子医療センターの各施設から1名は委員として選出します。
- * 事務局も小児科の鈴木先生から、鬼頭先生に交替をお願いします。
- * 要望・変更ありましたら、4月15日までをお願いします。

<次回医療協議会開催について>

- * 平成14年度第1回愛知県周産期医療協議会を、平成14年6月7日(金)「名古屋第一赤十字病院 第六会議室」にて開催します。